

ー総括表ー

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

生麦は歴史を大切にしている地域です。年間を通じ、数々の伝統行事があり、地域の方々が一丸となって町を盛り上げています。伝統行事を通して、若い世代へ伝統を継承することにより、住民同士がつながり、様々な世代が交流するきっかけとなっています。また、地域に愛着を持っていच्छる方も多く、向こう三軒両隣の関係や、地域活動などを通じた人と人との温かいつながりがあります。地域の状況としては、国道15号線と鉄道線路の間に新しいマンションが立ち並び、子育て世代の居住率の高まりと併せ、地区別高齢化率も高まり、地元の方と転入者の方が混在している傾向にあります。これまで大切に守られてきた伝統を、次世代へ語り継ぐことのできる支援が必要であると考え、多世代交流や青少年育成、子育て世帯へのアプローチ等を積極的に行い、世代を超えたつながりやネットワークの拡充が必要だと考えます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	ー具体的な取組内容ー
■	<input type="checkbox"/>	1階多目的ホールを活用し、誰もが自由に入出入り、利用できるサロン麦の風を実施する。様々な世代が活用しやすいように利用ルールを定め、場の活用を検討していく。
■	<input type="checkbox"/>	既存のボランティア活動の紹介を地区社協だより・なまいちじゃん、ケアプラザ広報誌の他に、自主事業、老人クラブへの出張講座の際にも行い、他者の目に触れることを増やし、ボランティア仲間の募集を行っていくことに加え、新たな方向の活動を模索する。
■	<input type="checkbox"/>	夏休み期間、夏の麦っ子プログラムを企画・実施する。小学生、地域の大人、高齢者が交流し、様々な分野の同じ体験を通じて地域のつながりができるように支援を行う。
<input type="checkbox"/>	■	元気づくりステーション支援については、新たにボランティアに加わったメンバーを含め、横のつながりを大事にしながら、活動時やボランティアミーティング内でも密に活動状況の共有を行い、引き続き安定した開催ができるよう支援を行う。屋外開催等については、ボランティアミーティングを適宜開催し、状況を把握しながら、開催について検討する。
<input type="checkbox"/>	■	生麦第一地区包括レベル地域ケア会議「民生委員・友愛活動員懇談会」を行い、医療・介護専門職の助言を受けながら、これまでの地域ケア会議の議論をもとに、「孤立」の解消につながる「その人の希望や持ちうる力に応じた社会参加」、「たまり場づくり」、「地域行事のさらなる活性化」の方法を見い出す。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

今年度、1階多目的ホールをサロン麦の風として場を開放した。開始当初は利用者がいない日もあったが、午前中は高齢者や親子連れ、午後は小学生・中学生を中心に利用がある。次年度もサロン麦の風は継続し、地域の方々の集いの場の提供と幅広い世代の地域のニーズ把握の場としても活かしていきたい。

生麦おたすけし隊のボランティア募集のチラシを作成し、ケアプラザ広報誌の配布に合わせて折りこみを行った。ケアプラザ広報紙や地区社協だより・なまいちじゃんでも継続的に活動報告を行う他、3館合同秋まつりでも専用のブースを設け活動の紹介を行った。また、今年度は新規にケアプラザの事業のボランティアを募集し、活動につながった。今後もボランティアの募集に取り組んでいく。

夏休みに夏の麦っ子プログラムを実施した。高齢者体験や昔遊び、認知症サポーター養成講座など、地域のボランティアが事業を手伝うかたちで子どもたちとの交流を行った。

元気づくりステーション支援に関しては、今年度久々にクリスマス会を実施し、参加者同士の交流が深まった。屋外での活動も、地域の場の提供協力もあり実施できた。運営ボランティアの世代交代が少しずつ進みながらも、元ボランティアの関わりも継続されている。今後も継続して区の保健師と連携しながらグループの活動支援を継続していく。

10月24日「民生委員・友愛活動員懇談会」開催、各老人クラブや民生委員の見守り、声掛け、居場所づくり活動について共有でき、発表された取り組みを他団体が参考にして各々の活動に生かす動きがみられた。今後の課題として、孤立解消のためのさまざまな取り組みが必要な方に伝えるための効果的な広報活動の研究が挙げられた。生麦らしい地域包括ケアの実現に向け、次年度以降も引き続き取り組んでいきたい。

☐ 区からのコメント

・多様な活動への支援を行うとともに、夏の麦っ子プログラムの実施により、子どもの頃から地域に様々な事情を抱えた方が周りに暮らしていることについて意識してもらえる機会の創出や、生麦おたすけし隊の活動支援など、住民主体の地域づくりの推進体制の構築に向けて、尽力いただいています。引き続き、地域の方々とのネットワークを大事にしながら、活動を支えていただくことを期待しています。

・地域包括支援センターの担当圏域が区内最小の中、老人クラブへの出張講座をはじめ地域に出向いての取組や、サロン麦の風、夕暮れラジオ体操など立地を生かした取組で、地域に溶け込んだ活動がなされています。歴史ある地域に立地する施設として、路地の1本1本を意識して地域を把握し、区と密に連携した高齢者支援と、高齢者の機微を捉えた事業展開を行っています。支援者と専門職との連携、民生委員など地域の支援者との連携など、地域包括ケアシステムを実現するハブとしての取組を發揮しています。引き続き、変わりゆく地域と変わりゆく高齢者像を把握し、地域に合致した事業展開をお願いします。

令和6年度生麦地域ケアプラザ事業計画書・報告書（施設運営、介護保険事業）

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について （事故防止、個人情報保護等）
取組計画	利用者、事業者を問わず、公正・中立性を確保するための取り組みを行います。利用者には新規、継続問わずエリア内の全ての事業者から自ら選択をしていただけるように資料を揃えてわかりやすく説明します。事業者には、利用者の希望や事業者の特徴を考慮しつつも公正な依頼をします。	個人情報はその方の人格そのものであるという意識を持ち、その取り扱いについて配慮を高めます。実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管することとし、業務上持ち出しが必要な場合には、紛失や漏えいのないよう最小限の情報のみの持ち出しとします。事故や“ヒヤリハット”があった場合は、検証や事故防止の対策を行い、その情報を全職員で共有します。職員の危機管理意識を高め、同じことが起きないように周知徹底します。
実績	公平中立性を確保するための取り組みとして新規契約時に訪問介護・通所介護・地域密着型通所介護・福祉用具貸与の利用割合を別紙交付すると共に、新規、継続問わずサービス調整時にはエリア内の全ての事業者から自ら選択をしていただけるように資料を揃えてわかりやすく説明しました。事業者には、利用者の希望や事業者の特徴を考慮しつつも公正な依頼をしました。	上記を遵守し、個人情報漏洩の事故やヒヤリハットはありませんでした。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	高齢者が地域で生きがいや役割をもって生活できる。介護予防、自立支援を盛り込んだ介護予防サービス・支援計画書が作成できる。	利用者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることを基本に利用者の意思を尊重したケアプランを作成する。年間474件の給付を目指し、介護保険事業の安定した運営を行う。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準（厚生労働省告示第百二十九号）及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準（厚生省告示第二十号）に基づく金額
	【その他料金】 生麦地域ケアプラザの担当地域以外の地域に訪問・出張する必要がある場合には、利用者がその交通費（実費）を負担必要がある。	【その他料金】 サービス提供地域（鶴見区、神奈川区）以外に居住する利用者は介護支援専門員が訪問するための実費を負担する必要がある。
職員体制	管理者 1名（兼務） 担当職員 4名（兼務） （保健師1名、社会福祉士1名、主任ケアマネジャー1名、介護予防プランナー1名）	管理者 1名（兼務） 担当職員 1名（兼務）
契約者数	195	39件

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

**令和6年度「生麦地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,560,550	491,406	22,051,956	22,051,956	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	120,000		120,000	262,400	△ 142,400	
雑入		0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	△ 465,000	465,000	夜間閉館戻入
収入合計	21,680,550	491,406	22,171,956	21,849,356	322,600	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,610,000	0	11,610,000	9,984,475	1,625,525	
本俸	7,700,000		7,700,000	6,671,063	1,028,937	
社会保険料	900,000		900,000	908,332	△ 8,332	
手当計	2,360,000		2,360,000	1,996,956	363,044	残業手当、賞与、通勤手当等
健康診断費	50,000		50,000	15,226	34,774	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	
退職給付引当金繰入額	600,000		600,000	392,898	207,102	
その他			0	0	0	
事務費	2,503,550	0	2,503,550	2,551,996	△ 48,446	法人本部経費を含む
旅費	20,000		20,000	14,647	5,353	
消耗品費	270,000		270,000	104,557	165,443	
会議開い費	42,000		42,000	40,687	1,313	
印刷製本費	190,000		190,000	166,329	23,671	
通信費	460,000		460,000	440,248	19,752	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	0	50,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	127,000		127,000	72,479	54,521	
職員等研修費	15,000		15,000	27,872	△ 12,872	
振込手数料	20,000		20,000	37,802	△ 17,802	
リース料	700,000		700,000	316,910	383,090	美化用品、パソコン等
手数料	50,000		50,000	39,184	10,816	
地域協力費	111,000		111,000	19,000	92,000	
その他	448,550		448,550	1,272,281	△ 823,731	業務委託費、本部経費等
事業費	1,200,000	0	1,200,000	745,552	454,448	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	1,200,000		1,200,000	745,552	454,448	
その他			0	0	0	
太陽光パネル保守点検	0	382,800	382,800	382,800	0	
太陽光パネル保守点検		382,800	382,800	382,800	0	
太陽光パネル修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕（追加）		0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）		0	0	0	0	
管理費	4,651,000	0	4,651,000	4,433,077	217,923	
光熱水費	2,000,000		2,000,000	1,644,541	355,459	
清掃費	810,000		810,000	802,956	7,044	
機械整備費	450,000		450,000	448,404	1,596	
設備保全費	1,281,000	0	1,281,000	1,229,983	51,017	
空調衛生設備保守	448,000		448,000	450,490	△ 2,490	
消防設備保守	68,000		68,000	67,782	218	
電気設備保守	555,000		555,000	513,579	41,421	
害虫駆除清掃保守	105,000		105,000	62,568	42,432	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	105,000		105,000	135,564	△ 30,564	
共益費	0		0	0	0	
その他	110,000		110,000	307,193	△ 197,193	
修繕費	474,000	85,801	559,801	559,801	0	予算:指定額
公租公課	1,200,000	0	1,200,000	1,281,007	△ 81,007	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,200,000		1,200,000	1,281,007	△ 81,007	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	21,638,550	468,601	22,107,151	19,938,708	2,168,443	
差引	42,000	22,805	64,805	1,910,648	△ 1,845,843	人件費が予算より費用が掛からなかった。12月に非常勤職員を3人→4人に増員はした。

自主事業費 収入	120,000	0	120,000	262,400	△ 142,400	
自主事業費 支出	1,200,000	0	1,200,000	745,552	454,448	
自主事業 収支	△ 1,080,000	0	△ 1,080,000	△ 483,152	△ 596,848	職員が講師を担っている事業も多数あり、講師料が少なかったため。

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「生麦地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	25,863,522		25,863,522	25,863,522	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0	0	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,940,708		5,940,708	5,940,708	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	4,800	△ 4,800	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0	5,200	△ 5,200	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	△ 218,424	218,424	協力医、職員休職分戻入
収入合計	31,958,230	0	31,958,230	31,749,806	208,424	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,610,000	0	28,610,000	28,496,509	113,491	
本俸	16,700,000		16,700,000	17,060,995	△ 360,995	
社会保険料	3,850,000		3,850,000	3,691,484	158,516	
手当計	6,400,000		6,400,000	5,847,000	553,000	
健康診断費	160,000		160,000	79,201	80,799	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	1,500,000		1,500,000	1,817,829	△ 317,829	
その他			0	0	0	
事務費	1,983,230	0	1,983,230	1,551,434	431,796	法人本部経費を含む
旅費	90,000		90,000	18,310	71,690	
消耗品費	520,000		520,000	46,118	473,882	
会議諸い費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	51,000		51,000	44,213	6,787	
通信費	210,000		210,000	118,744	91,256	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費	50,000		50,000	0	50,000	
施設賠償責任保険	40,000		40,000	19,267	20,733	
職員等研修費	75,000		75,000	85,930	△ 10,930	
振込手数料	16,000		16,000	11,148	4,852	
リース料	340,000		340,000	301,474	38,526	
手数料	30,000		30,000	10,416	19,584	
地域協力費	130,000		130,000	14,000	116,000	
その他	421,230		421,230	881,814	△ 460,584	
事業費	1,654,000	0	1,654,000	563,816	1,090,184	
協力医	630,000		630,000	420,000	210,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	600,000		600,000	22,245	577,755	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	0	154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	270,000		270,000	121,571	148,429	
その他			0		0	
管理費	1,385,000	0	1,385,000	1,178,411	206,589	
光熱水費	750,000		750,000	437,156	312,844	
清掃費	215,000		215,000	213,444	1,556	
機械整備費	120,000		120,000	119,196	804	
設備保全費	270,000	0	270,000	326,957	△ 56,957	
空調衛生設備保守	115,000		115,000	119,750	△ 4,750	
消防設備保守	20,000		20,000	18,018	1,982	
電気設備保守	115,000		115,000	136,521	△ 21,521	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	16,632	3,368	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	36,036	△ 36,036	
共益費			0	0	0	
その他	30,000		30,000	81,658	△ 51,658	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	33,758,230	0	33,758,230	31,916,170	1,842,060	
差引	△ 1,800,000	0	△ 1,800,000	△ 166,364	△ 1,633,636	事業費の節約、事業において職員が講師を担う、企業や事業所の協働で講師料がかからなかったため。

自主事業費 収入	0	0	0	10,000	△ 10,000	
自主事業費 支出	1,024,000	0	1,024,000	143,816	880,184	
自主事業 収支	△ 1,024,000	0	△ 1,024,000	△ 133,816	△ 890,184	事業において職員が講師を担う、企業や事業所の協働で講師料がかからなかったため。

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名:生麦地域ケアプラザ

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,800	2,510	1,290	3,800	5,899	-2,099	5,880	5,557	323			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	3,800	2,510	1,290	3,800	5,899	-2,099	5,880	5,557	323	0	0	0	0	0	0
支出	人件費	600	500	100	500	700	-200	7,600	7,666	-66			0			0
	事務費	50	50	0	50	50	0	400	246	154			0			0
	事業費			0			0	200	116	84			0			0
	管理費			0			0	0	0	0			0			0
	その他	2,048	1,207	841	1,982	2,612	-630	0	217	-217	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2,048	1,207	841	1,982	2,612	-630			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0		217	-217			0			0
	支出合計(B)	2,698	1,757	941	2,532	3,362	-830	8,200	8,245	-45	0	0	0	0	0	0
収支 (A)－(B)		1,102	753	349	1,268	2,537	-1,269	-2,320	-2,688	368	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者					
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）			2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 7：共催（1と2と3）			1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計		
									実施 回数	延べ 参加 人数	
1	やさしい体操	平成23年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	地域高齢者の健康維持・増進、介護予防として取り組む。また、ケアプラザ職員が講師となることで参加者とのコミュニケーションを図り、顔の見える関係づくりを行う。	1：高齢者	5	ケアプラザ職員が講師を順番に務め、椅子に座って行えるストレッチ、体操、脳トレなど行う。 会場：生麦地域ケアプラザ 毎週火曜日 10:30～11:15／13:00～13:45	102	1938	
2	夕暮れラジオ体操	令和3年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	地域住民の健康維持・増進を目的に、外に出て活動する場の提供を行う。	5：地域	1	ケアプラザの向かいにあるふれあいの家の中庭にてラジオ体操やストレッチを行う。 会場：ふれあいの家 中庭 毎週水・金曜日 暑い季節：16:15～16:40 寒い季節：14:15～14:40	90	2018	
3	かんたん絵手紙	平成24年度	1：地域活動交 流事業	1：優先的に 取り組み	絵手紙を描くことを通じて指先を意識的に動かし脳の活性化、介護予防につなげる。参加者同士の仲間づくりの場とする。	5：地域	1	講師の手本に沿って絵手紙を製作する。絵を通し、楽しみつつ仲間を作り、閉じこもりを予防する。 会場：生麦地域ケアプラザ 月2回 水曜または土曜日 10:00～11:30	24	46	
4	英語で脳トレ	令和2年度	1：地域活動交 流事業	1：優先的に 取り組み	高齢者の集いの場を提供するとともに高齢者の閉じこもり予防、認知症予防に取り組む。	1：高齢者	5	簡単な英語にふれながら手遊びやゲームを行い、皆で楽しみながら脳トレを実施する。 会場：生麦地域ケアプラザ 月1回 13:00～13:45	11	99	
5	生麦散歩	令和3年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	地域の方々の健康増進と運動習慣への意識を高める。 介護予防と健康づくりの知識を普及・啓発を行う。 正しい歩き方や転倒予防への知識を伝えることにより、怪我の予防と健康寿命の延長を図る。	1：高齢者	5	健康づくりのための8000歩前後を目標にした散歩と介護予防や健康づくりの知識を普及・啓発する為に健康講話を行う。 月1回	11	65	
6	3館合同秋まつり	令和3年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	ケアプラザに来たことの無い人が足を運ぶきっかけ、ケアプラザの存在、働きをより広く周知する機会とする。子どもから高齢者まで誰もが楽しめる、健康を見つめ直したり、地域で年齢を超えた交流の場とする。	5：地域	1	バザーや健康測定会、ケアプラザの機能や活動の紹介ブース等 会場：生麦地域ケアプラザ、生麦地区センター 11月9日、10日	2	300	
7	キッズ認知症サポーター養成講座	令和4年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	地域の子どもたちに対し、認知症への理解を深めると同時に夏休みの宿題（自由研究）の対策とする。	4：子ども・青少年	5	子ども向けに認知症サポーター養成講座を行う。 会場：生麦地域ケアプラザ 年1回 8月（夏休み中）	1	12	
8	認知症サポーター養成講座	平成23年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	地域向けに認知症サポーター養成講座を行う。	5：地域	1,7	認知症サポーター養成講座を行う。講師をキャラバンメイトにお願いする。 会場：生麦地域ケアプラザ 年1回 11月 ビデオ講義で講座形式にて実施。	1	22	
9	おたっしやクラブ	平成30年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	認知症理解と認知症予防・フレイル予防対策の啓蒙、エンディングノートの普及啓発など高齢期特有の課題に対する自己防衛力を高めつつ、集いの場として楽しめるような場とする	1：高齢者	5	毎回、前半に高齢期対策についてのミニ講座を行い、後半に家でできる認知症およびフレイル予防対策について取り上げる。 会場：生麦地域ケアプラザ 月1回 第1金曜日 13:00～14:00	10	159	
10	えんびつサロン	平成30年度	5：共催（1と3）	1：優先的に 取り組み	脳トレをしながら情報共有しコミュニケーションする機会を提供する。	1：高齢者	5	時間を決めて、程よい緊張感の中で脳トレプリントを行う。いざという時や、エンディングノート記載時に、自分の名前と住所が書けなくならないようにする。 会場：生麦地域ケアプラザ 月1回 第4月曜日 （同日の午前と午後で2回実施）	24	318	
11	成年後見制度講座	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に 取り組み	成年後見制度利用促進を行う。	5：地域	1,2,6	成年後見制度の利用促進と周辺制度の案内を行う。 会場：生麦地域ケアプラザ 関係機関と調整のうえ、年2回以上開催	2	38	
12	介護者のつどい	令和3年度	5：共催（1と3）	2：発展させる ねらい	介護に役立つ知恵と情報提供と情報交換、介護疲れをいやす場の提供、介護者支援のためのICT活用方法、介護技術の普及啓発も行う。	5：地域	7	介護情報発信を行っているケアラズカフェつむぎサロンと共催で、介護関連講座開催と、介護者への癒しの場の提供を行う。 会場：生麦地域ケアプラザ 年2回以上共催	23	136	
13	生麦学び遊び場の会	平成26年度	3：生活支援体制整備事業	2：発展させる ねらい	小学生を対象に地域住民、生麦小学校の元先生などがボランティアで長期休暇の学習サポートや遊びの機会を計画し、地域と子どもの交流の場を創出する。	4：子ども・青少年	5	夏・冬休みに地域住民や元生麦小学校の先生たちが学習サポート（夏休み、軽スポーツ）などを通しての交流会などを企画実施する。 ・ポッチャなどを行う。ケアプラザは、広報・場所貸しの支援を行う。 会場：生麦地域ケアプラザ、生麦小学校 夏休み・冬休み・春休み期間	8	102	
14	なまいちサッカー教室	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に 取り組み	スポーツを通じて子どもたちが地域と交わりながら体を動かす機会とする。	5：地域	4	YMCA専門学校に講師を依頼し、生麦小学校児童、生麦中学校に募集をかけて一緒に、なまいちサッカー教室を実施する。 会場：生麦小学校 校庭 日時：2025年3月	1	19	
15	あいねっとグラウンドゴルフ親睦大会	令和3年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に 取り組み	生麦第一地区老人会グラウンドゴルフ同好会メンバー同士の親睦を深める。 グラウンドゴルフで体を動かすことによって、介護予防の機会とする。	1：高齢者	5	生麦第一地区老人会グラウンドゴルフ同好会メンバー同士の親睦を深めることを目的に年度内2回開催予定。 日時：6月30日（日）午前 2月23日（日）午後 会場：貝の浜緑地公園（東側）	2	79	

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者					
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）			2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 7：共催（1と2と3）			1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業			1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計		
									実施 回数	延べ 参加 人数	
16	生一連絡会	令和2年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	町の活性化のために横のつながりを強化する。 地域の活動を支える地域の方とあいねっと地区別支援チームのつながりを深め生麦の現状を知る機会とする。	5：地域	6	地区別地域福祉保健計画の協議・検討、地域行事などの情報共有、地区社協主催のイベントの計画、「地区社協だより・なまいちちゃん」の発行を行う。 会場：生麦地域ケアプラザ 月1回開催	10	86	
17	園芸ボランティア	令和元年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	ケアプラザの樹木の剪定や花壇の整備などを定期的に行うことにより、地域の方の居場所づくりと活躍の場とする。	5：地域	1	地域の方々のご協力をいただき、ケアプラザの樹木の剪定や花壇の整備、グリーンカーテンの設置を行う。 年2回（5月、秋頃）	2	14	
18	生活支援ボランティア (生麦おたすけし隊)	令和4年度	5：共催（1と3）	1：優先的に取り組み	高齢者や日常生活に困難のある方が、住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援を行う。 高齢者が孤立することなく、生きがいや役割を持って、自分らしく暮らし続けられるよう、介護予防・社会参加の機会とする。 活動を通じて、高齢者の安否確認や住民同士の関係づくりの機会とする。	1：高齢者	2.5	ボランティアの方々や定例会（月1回）をもち、活動内容等の相談、支援内容、支援日を話し、活動していく。日常の困りごとのお手伝いを行う。介護保険サービス以外の生活支援（インフォーマルサービス）を行う。具体的な活動内容は次の通り。 草むしり・樹木の剪定、電球・蛍光灯の交換など、家具関係（移動・組立など）	12	69	
19	麦の風NEWS (ケアプラザニュース、広報誌)	平成23年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域住民向けに自主事業、講座、地域行事などの情報をわかりやすく、かつタイムリーに発信する。	5：地域	1,2,3,4,6	ケアプラザで行う自主事業や講座の情報が地域行事の情報などを掲載し発信する。自治会・町内会の回覧と掲示板（別途掲示版用も作成）で広く周知を行う。 月1回の発行	12	15600	
20	登録団体交流会	平成26年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザを利用している登録団体同士が交流し、お互いの活動を知る機会とし、団体同士の横つながりを作る。 ケアプラザの利用方法を正しく周知していく機会とする。	5：地域	7	同じ地域で活動している団体が一同に集い、交流の時を持つ。互いの活動を知り、情報交換を通して更なる活動の発展のきっかけ作りの機会とする。 会場：生麦地域ケアプラザ 年1回（11月頃）	2	22	
21	ボランティア感謝会・交流会	平成27年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	2024年度ケアプラザにてボランティア活動を行った方を対象に、活動に対する感謝の意を伝え、ボランティア同士の交流の機会とする。 また、2025度に向けてそれぞれのボランティアの新たな活動のきっかけを見つける機会とする。	5：地域	7	簡単なゲームを行いながらの交流、ボランティア活動の表彰、ボランティア同士での意見交換などを行う。 会場：生麦地域ケアプラザ 年1回（3月頃）	1	5	
22	子どもフェスティバル	平成27年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域行事である「子どもフェスティバル」に「生一連絡会（ケアプラザ・あいねっと）」としてブース出展し、地域福祉推進活動の普及啓発を行う。	4：子ども・青少年	5	なまいちちゃんカルタとモルックを実施。 会場：生麦小学校 日時：6月9日（日）10:00～12:00	1	300	
23	茶ばしらおはなし会	令和1年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	生麦地区センターと共催し事業を実施することでケアプラザにあまり足を運ぶ機会がない方へのきっかけづくりとケアプラザの機能を知ってもらう機会とする。多世代の方が参加できる本の朗読や紙芝居、歌を実施することで集まっていた、交流の機会とする。	1：高齢者	5	本の朗読、紙芝居、歌を歌う等を実施する。 会場：9月生麦地区センター、2月生麦地域ケアプラザ 協力：本と楽しむ大人時間茶ばしら（ボランティア団体） 年2回（9月、2月）	0	0	
24	チャリティーラン	令和5年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	横浜YMCAインターナショナル・チャリティランにおいて、障がいの有無にかかわらずバトンをつないで仲間と一緒にゴールを目指す体験を通し、地域活動ホーム「ふれあいの家」「ふれあいのクローバー」メンバーと一緒にチャリティーラン（参加費で障がい児の支援をする）と共に、障がいへの社会的理解・関心を高めることを目的とした駅伝イベントに参加する。 年1回（10月頃）	2：障害児・者	5	地域活動ホーム「ふれあいの家」、「ふれあいクローバー」のメンバーと一緒にチャリティーラン（参加費で障がい児の支援をする）と共に、障がいへの社会的理解・関心を高めることを目的とした駅伝イベントに参加する。 年1回（10月頃）	1	12	
25	清掃ボランティア	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザ利用団体への地域ボランティア活動参加のきっかけづくりとして、また福祉保健活動協力団体（団体Ⅱ）のボランティアの機会として実施する。	5：地域	7	ケアプラザ内の清掃活動や地域のごみ拾いなど清掃関係のボランティアを企画実施する。 年2回（12月、2月）	2	30	
26	夏の麦っ子プログラム	令和6年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	小学生、地域の大人、高齢者が交流し、様々な分野の同じ体験を通じて、地域のつながりづくりの機会とする。	4：子ども・青少年	5	工作、福祉用具体験、遊び等を実施する。 会場：生麦地域ケアプラザ 夏休み期間	3	45	
27	サロンどうよう♪どう♪	令和6年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	地域の高齢者が歌える通いの場とおして介護予防に努めることができるよう実施する。参加する高齢者のなかからボランティアをつつり、サロンとして盛り上がっていくようにする。	1：高齢者	5	なつかしい歌による回想法、口の体操によるオーラルフレイル防止、集いの場による認知症予防、ボランティアをすることによる自己有用感の醸成。四半期に一回開催	2	55	
28	サロンこすもすリズム	令和6年度	7：共催（1と2と3）	2：発展させるねらい	オーラルフレイル防止、認知症予防、ボランティアをすることによる自己有用感の醸成、集いの後に、外での体操につながるように、自治会の枠を超えた地域コミュニティの維持	1：高齢者	5	簡単な歌、季節の歌詞、俳句をもとに季節感を感じながら談笑、月1回開催	5	54	
29	チャリティーイベント	令和4年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	チャリティー事業を通じて地域に広く国際・地域活動を周知する。赤い羽根共同募金、横浜YMCA国際地域協力募金、ウクライナ緊急支援募金への理解と支援協力を目的とする。	5：地域	1	チャリティー事業として体操や音楽鑑賞会等を行う。 会場：生麦地域ケアプラザ、ふれあいの家中庭	1	28	
30	ケアブラいきいきひろば	令和6年	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	日曜日にケアプラザに足を運ぶきっかけに、するとともに世代間交流などを目的として実施。	5：地域	7	10月にポッチャ、12月脳トレ、1月モルック、2月認知症サポーター養成講座を日曜日、生麦地域ケアプラザにて実施	4	29	

■ 事業

1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

1：優先的に取り組みが求められる事業
2：福祉保健活動に発展させることを
ねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
7：その他

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者 (複数選択 可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施 回数	延べ 参加 人数
31	出張！プラネタリウム	令和5年度	1:地域活動交 流事業	1:優先的に取 り組み	区域レベルで障害児余暇事業を開催し、現在の障害児の実態や余暇事業へのニーズ等を把握する。	2:障害児・ 者		5 障がい児とその家族を対象に移動式プラネタリウムの投影会を開催、高校生ボランティアによる工作やアンケートなども実施した。	1	122